

政策分析シート（平成22年度）

政策名	活気ある地域コミュニティの形成	政策No	10	部名	区民生活部	部長名	高梨博和	内線	2500
関連部名	子育て支援部、総務企画部								
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]							
目的	心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援する。								
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)			
	ふれあい館整備率	25.0%	30.0%	30.0%	35.0%	100.0%	整備箇所数 / 計画数 (20館)		
	町会加入率	61.4%	62.7%	59.2%	60.0%	65.0%	加入世帯数 / 区内世帯数		
	青少年対策事業参加者数	51,073	51,175	53,515	55,000	-	各地区の青少年対策事業(こどもまつり等)の参加者数		
現状と課題 (指標分析)	<p>コミュニティ活性化の推進にあたっては、ふれあい館をより使いやすく、特色ある施設内容となるよう工夫するとともに、区民ニーズ等を適切に把握し、事業内容の一層の充実を図る必要がある。町会の加入率の低下や役員の高齢化が進んでいる中で、新区民の地域コミュニティへの参加率を高めるとともに、新区民とこれまでの区民が融合したコミュニティ活動のあり方を検討する必要がある。</p> <p>青少年健全育成運動については、参加者も多く、環境美化活動や地域見守り活動等多面的な展開をみせており有意義なものであるが、運動を担っている方々の高齢化・固定化といった課題がある。</p>								
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>平成20年4月に新たに策定した「ふれあい館整備ニュープラン」に基づき、各地域において特色あるふれあい館づくりを推進するとともに、指定管理者への的確な指導・監督、地域や関係各課との連携強化により、ふれあい館事業の更なるレベルアップを図る。</p> <p>町会・自治会の自主性・自立性を高めるとともに、町会・自治会事業への積極的な支援を行い、加入率の向上を図る。</p> <p>平成22年3月に策定した「平成22年度・23年度荒川区青少年健全育成基本方針」を各青少年対策地区委員会、町会、関係機関、団体と連携を取り実施していく。また、平成20年度にまとめられた「荒川区の家庭における親の教育意識と青少年」の意識調査結果を踏まえ、青少年健全育成に関する施策を展開していく。</p>								

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	前年度設定	今年度設定	
コミュニティ活性化の推進[10-01]	重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティの活性化のため、ひろば館に替わり活動の拠点となるふれあい館の早期の整備が求められている。また、区の行政推進のため、町会等の自主性・自立支援及び活性化が必要不可欠である。
青少年健全育成運動への支援[10-02]	推進	推進	地域の住民が主体となって取り組んでいる本施策は、地域に定着しており、活力ある地域コミュニティ形成に必要な不可欠である。防災、防犯、防火、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、引き続き支援していく。
人権・平和の普及啓発[10-03]	推進	推進	人権・平和・男女共同参画社会について広く区民に普及・啓発していく。